

わくわく にしこおり

令和 3 年 4 月 20 日
富田林市立錦郡幼稚園
園長室 NO. 6

自然から学ぶ ～観察をしっかりと、探求心を旺盛に！ イタドリの水車から学ぶ～

毎年、自分の田んぼの畦の横に大きなイタドリ（こくら辺りではスカンポと呼びます。）が生えて

きます。持って帰り、久しぶりに水車（みずぐるま）を作りました。小さい頃、柔らかい竹のような茎の部分を取り、それに割れ目を入れ水車（みずぐるま）を作って（たこさんウィンナのように曲がります）、水車小屋（すいしゃごや）の水路に並べて回して遊んだものでした。なぜ茎が丸くなるのかはわかりませんでしたが、不思議さも含めて、自然を感じることでできる楽しい遊びでした。昨日、みんなに「新しい手品ですう！」と紹介すると、きれいに曲がっていくことにずい分驚いていました。そら組さんは、タンポポの茎でも同じことができること発見し、次々に可愛いカール状の作品？を作っていました。昨年度の「もずのはやにえ」の時もそうでしたが、自分たちで次のことを展開していく探求心には驚かされています。

茎が反り返るのは、シュウ酸が溶出して、濃度差により、浸透圧に差ができるからです。植物の運動は、ほとんどこのような浸透圧の差で起こっていると考えられます。



たんぼの畔に生えていたスカンポと紹介

このように切れ目を入れると、「たこさんウィンナ」のようになります。と 実演中



丸まって「水車のようになったよ」とびっくり

このような状態になります。右上はタンポポ

中心にお箸を通して水で回しています。



タンポポの茎でも丸まることを発見！ミニ水車→指輪になったり、下のような綺麗な作品に

昨年は泳げなかった鯉たち、頑張れ～



はな組、ほし組いっしょに活動 虫さんになって変身しつつ、表現遊びを楽しみました。

↓風もあり、気持ち良く泳いでいます！

